

令和6年度ダイバーシティ推進に関する意識・実態調査の結果

本意識・実態調査は、兵庫県立大学に所属する教職員を対象に、ダイバーシティ推進室を中心に実践してきた事業を振り返り、また、在籍する教職員のダイバーシティ推進に関する意識・実態を把握するため「令和6年度ダイバーシティ推進に関する意識・実態調査」として、専用 Web サイトでアンケート調査を実施した。

実施主体：兵庫県立大学 ダイバーシティ推進室

調査対象：兵庫県立大学に所属する全教職員

調査時期：令和6年8月2日～9月30日

調査方法：Google Forms「令和6年度ダイバーシティ推進に関する意識・実態調査」
アンケートサイトに回答

対象数：905名 回答数：586名(回答率：65%)

《回答者の属性》

国籍：日本 98.6%、日本以外 1.4%

性別：男性 59.4%、女性 38.0%、答えない 2.6%

年齢：20代 3.6%、30代 12.8%、40代 23.9%、50代 40.6%、60代 15.0%、
無回答 4.1%

職位：教授 25.3%、准教授 18.1%、講師 2.6%、助教 9.6%、助手 0.9%、
無回答 2.2%、職員 39.6%、その他 1.9%

職種：正規職員 47.3%、非正規職員 23.5%、教員 27.0%、無回答 1.5%、その他 0.7%

管理職等：管理職 14.0%、非管理職 58.4%、正規職員以外 27.3%、その他 0.3%

配偶者：あり 72.4%、なし 22.2%、無回答 5.5%

子どもの有無：あり 61.8%、なし 32.4%、無回答 5.8%

(1) ダイバーシティ推進に関する認知・意識

2021年ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)宣言を公表。ダイバーシティ推進の認知・関心と身近な組織の雰囲気把握を目的とする。

1. D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)宣言を知っていますか。(N=586)



本学は2021年5月10日にD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)宣言及びダイバーシティ&インクルージョン推進基本方針を公表。アンケート取得時まで3年たち、教職員の認知度は約80%。

2. ダイバーシティ推進室のHPを見たことがありますか。(N=586)



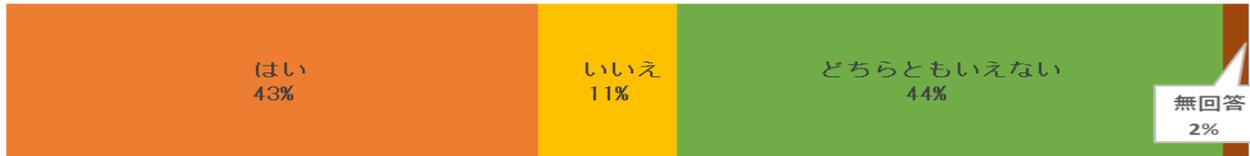
当室HPは2024年5月31日リニューアル。「見たことがない」が50%を超えており、認知をひろげるよう広報に課題。

3. あなたの職場では、何でも意見を言い、お互いを認め合える雰囲気ですか。(N=586)



「どちらともいえない」を選択した方は、「いいえ」選択と同様と考えられ、合わせて48%となり、「はい」と「いいえ」が拮抗することがうかがえる。

4. あなたは日頃ダイバーシティを意識して行動していると思いますか。(N=586)



「どちらともいえない」を選択した方は、「いいえ」選択と同様と考えられ、合わせて55%、「いいえ」がやや高いことがうかがえる。

(2) 女性活躍とポジティブアクションに関する意識・要望

男性と女性の教職員における意識の違いについて把握を目的とする

1. 大学がポジティブアクション（男女のジェンダーギャップを是正するための募集・採用・助成等）をとることをどう思いますか。(N=586)



ポジティブアクションに「賛同・やや賛同」66%、「反対・やや反対」12%となっている。

2. Q1で「賛同する・やや賛同する」と答えられた方、どのようなポジティブアクションをとることが適当だと思いますか。該当するものをすべて選択してください。(N=655)



ポジティブアクションとして女性に限定しない「仕事と家庭の両立支援の整備」が51%、助成限定の「優先採用・限定公募・インセンティブ」は合わせて48%となっている。

3. Q1で「反対する・やや反対する」と答えられた方、以下の理由に該当しますか。該当するものをすべて選択してください。(N=139)



「実力で判断」「男女平等は確保」があわせて63%、「男性差別」22%、「男女差がでること

はやむをえない」9%となっている。

4. 大学・部局の意思決定過程において、大学執行部や役職者は、男女半々であることが望ましい。(N=586)



「そう思う、どちらかというと思う」をあわせて55%、「そう思わない、どちらかというと思わない」をあわせて32%となっている。

5. 学内あるいは部局内には、女性は執行部や役職者に向かないといった暗黙の了解がある。(N=586)



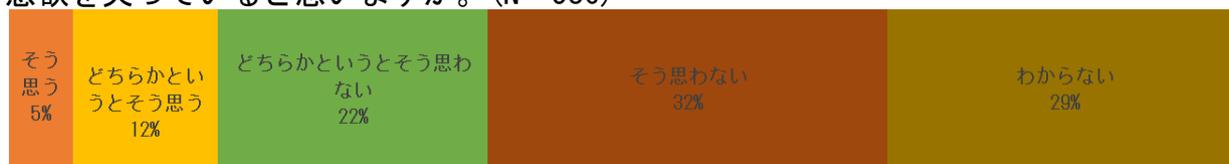
「そう思う、どちらかというと思う」をあわせて14%、「そう思わない、どちらかというと思わない」をあわせて67%となっている。

6. 教員等の採用・昇進の現状について性別に偏りはないと思いますか。(N=586)



「そう思う、どちらかというと思う」をあわせて43%、「そう思わない、どちらかというと思わない」をあわせて32%となっている。

7. 教員等の採用・昇進の現状について、男性優位の採用・昇進が続いている結果、女性が意欲を失っていると思いますか。(N=586)



「そう思う、どちらかというと思う」をあわせて17%、「そう思わない、どちらかというと思わない」をあわせて54%となっている。

(3) ワークライフ・シナジーについて

出産・育児・介護経験の実際について聞き、生活実態の把握を目的とする

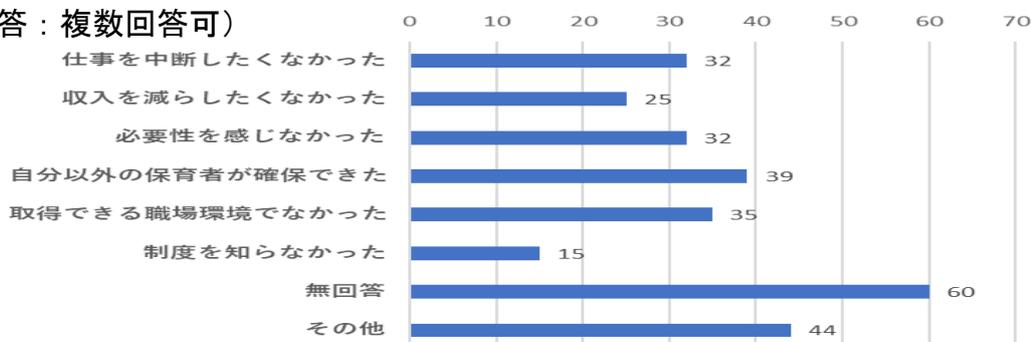
1. 本学に着任後、出産（または子どもの出生）経験はありますか。(N=586)



2. Q1で「はい」と答えられた方、育児休業を取得しましたか。(N=127)

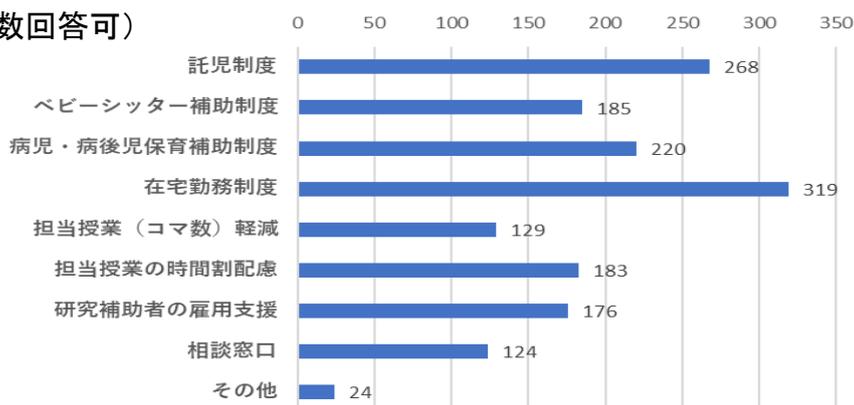


3. Q2で「いいえ」と答えられた方、育児休業を取得しなかった理由を教えてください。(N=282 回答：複数回答可)



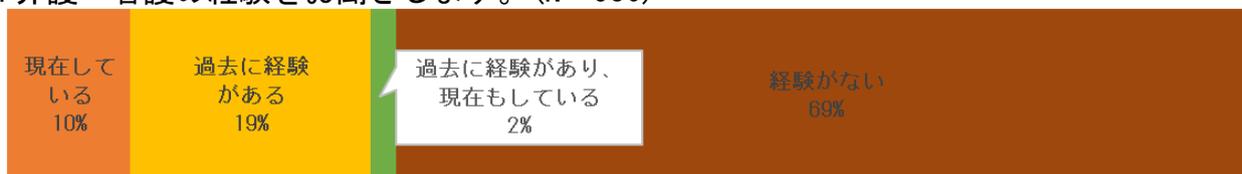
選択回答ではなく「無回答」「その他」が60%、44%と多く、「自分以外の保育者」39%、「取得できる職場環境ではなかった」35%が続く結果となった。

4. 育児と仕事の両立を実現するために必要と思う施策・制度について教えてください。(N=1628 回答：複数回答可)



「在宅勤務制度」319 回答、「託児制度」268 回答、「病児・病後児保育補助制度」220 回答となった。

5. 介護・看護の経験をお聞きます。(N=586)



6. Q5で、介護・看護した・していると答えられた方、介護・看護の対象者について教えてください。(N=177)



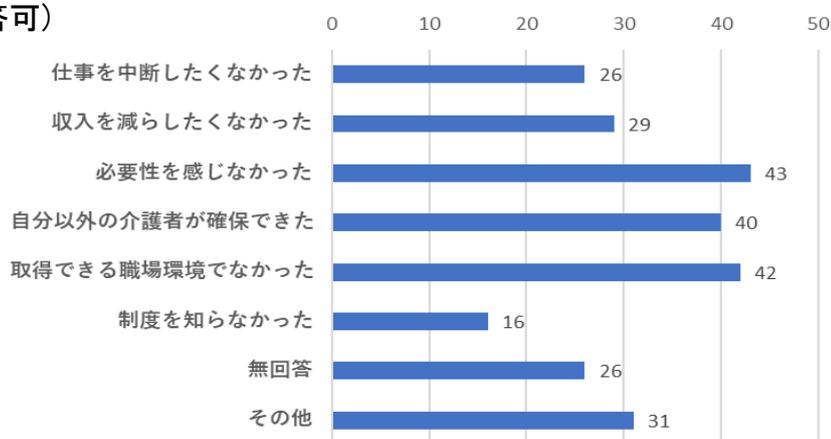
7. Q5 で、介護・看護した・していると答えられた方、介護・看護の主たる介護者はどなたですか？ (N=169)



8. Q5 で、介護・看護した・していると答えられた方、介護休職を取得しましたか？ (N=183)



9. Q8 で、いいえ、と答えられた方、介護休職をとらなかった理由を教えてください。(N=253 回答：複数回答可)



現在介護中は 12%、介護休暇取得は 7%で、そのうち休暇取得しなかった理由は「必要性を感じなかった」43%、「取得できる環境ではなかった」42%、「自分以外の介護者が確保できた」40%となった。

(4) 障がい者支援について

注力する必要がある障がい者支援施策の把握を目的とする

1. 平成 28 年から施行された障害者差別解消法では、障がいによる差別を解消するため、不当な差別の禁止および合理的配慮の提供が挙げられています。合理的配慮についてご存知ですか？ (N=586)



(5) SOGI について

SOGI に関する基本方針に続き、SOGI ガイドラインを制定して、より性の多様性の尊重を大きな課題として理解啓発に取り組むため、現状の確認を目的とする

1. LGBTQ についてどの程度知っていますか？ (N=586)



「内容も含めて知っている」66%、「言葉は聞いたことがある」「知らない」をあわせて34%で、今後も引き続き、意識啓発の取組が課題。

2. SOGI について、どの程度知っていますか？ (N=586)



「内容も含めて知っている」20%、「言葉は聞いたことがある」「知らない」をあわせて80%で、力を入れて意識啓発の取組が必要。

3. アウティングについて、どの程度知っていますか？ (N=586)



「内容も含めて知っている」29%、「言葉は聞いたことがある」「知らない」をあわせて71%で、力を入れて意識啓発の取組が必要。